

彙報

橘 寛勝 教授

デンマークのコペンハーゲンで開催の第六回国際老年学会ならびに国際老人協会創立総会に日本代表として出席のため、昭和三十八年八月六日羽田発、会議後スエーデン、フィンランド、ノルウェー、イギリス、アメリカを経て、同九月十八日帰朝。なお老年学会において、師は「日本文化における老年美の本質」(本誌掲載英文論文参照)と題して発表し、注目をあびた。

岡 邦俊 教授

「仏教の合理性と非合理性」―仏教の三類型―

日本印度学仏教学会 第十四回学術大会(日本大学に於て)での研究発表

(昭和三十八年五月四日)

「宗教の類型」―キリスト教と仏教―

日本宗教学会 第二十二回学術大会(富山大学に於て)での研究発表

(昭和三十八年十月六日)

海 辺 忠 治 教授

「西田哲学 宗教論について」 昭和三十八年十月七日

日本宗教学会第二十二回学術大会に研究発表 於富山大学

同 右

「宗教研究」(第三十七卷第二輯)に掲載

リサイタル (専任職員のみ)

美馬千鶴子 助手 三十八年六月一日 徳島ホール

門屋 菊子 講師 三十八年十一月十三日 御堂会館

南部 明子 講師 三十八年十一月十三日 御堂会館

辻 久子 教授 三十八年十二月十九日 フェスティバルホール

木川田 誠 講師 三十九年二月十一日 御堂会館

柳瀬 徹 講師 三十九年五月十五日 御堂会館

被服研究室

○染色学(第七版 三十九年三月 いずみ印刷)

教授 浜崎 弥市 著

○ソーイングブック(初版 三十九年五月 衣生活研究会)

助教授 山本 登美子 著

図書館棚だより

昭和三十九年二月十日現在

教職課程関係

著 者 書 名

神奈川カウンセリング 学校カウンセリング 昭和三十八年 出版年

海後 宗 臣 日本教科書大系 第一巻(既巻まで) 昭和三十六年

学級経営事典編 学級経営事典 昭和三十八年

長田 新 ベスタロッツ教育学 昭和三十八年

田崎 仁 職場心理学 昭和三十八年

Mc Donald, F. J. Educational Psychology C. 1959

O Connor, N. Recent Soviet Psychology C. 1961

稲富 栄治郎 明治初期教育思想の研究 昭和十九年

その 他

一般教育関係

ボルノウ 塚越 敏他訳 実存哲学概説(実存主義叢書 三) 昭和三十七年

M・ブーバー 児島 洋他訳 人間とは何か() 昭和三十八年

マルセル 峰島 旭雄訳 存在の神秘序説() 昭和三十七年

モリーヤック 安井 源治訳 パスカルとその妹() 五) 昭和三十八年

ジャン・ヴァール 松浪信三郎訳 実存主義入門() 一) 昭和三十七年

F・デッサウアー 高橋 憲一訳 科学・技術・宗教(宗教思想選書三) 昭和三十八年

J・ヘッセル
大江精志郎訳

知識と信仰 (一)

(二)

昭三十七年

曾根 豊 祐

源氏物語女性群像 第一卷
昭和校訂流布本平家物語

昭三十八年

P・テイリツヒ
土居 真俊訳

神の存在論的研究 (一)

(二)

昭三十八年

野村 宗 朔編
仲田 庸 幸

源氏物語の文芸的研究
思想、文芸、日本語

昭三十七年

バート・ランドラッセル
市井 三郎訳

西洋哲学史 上 中 下

昭三十七年

津田 左右吉
奈良国立文化財研
究所編

院の御所と御堂―院家建築の研究―

昭三十七年

松本 文三郎

支那哲学史

昭三十七年

林屋 辰三郎

中世芸能史の研究

昭三十七年

桜井 秀

風俗史の研究

昭三十八年

大友 信一

室町時代の国語音声の研究

昭三十八年

堀口 蘇山

日本仏教美術の研究

昭三十八年

寺内 清之助

源氏物語とその女性観―教育観―
文学観―

昭三十八年

中根 猛彦

原色昆虫大図鑑

昭三十八年

坂井 華 溪

撰西兵庫俳諧史

昭三十八年

篠崎 武

弁証法論理学序説

昭三十八年

三宅 周太郎

新編文案の研究

昭三十八年

直良 信人

古代人の生活

昭三十八年

太田 為三郎

日本随筆索引

昭三十八年

川勝 政太郎

京都石造美術の研究

昭三十八年

上村 悦子

蜻蛉日記―校本、書入、諸本の研究―

昭三十八年

重森 三玲

京都庭園の研究

昭三十八年

西 晋一郎

礼の意義と構造

昭三十八年

小川 晴暘

天平芸術の研究

昭三十八年

川瀬 一馬

日本書誌学之研究

昭三十八年

坂井 犀水編

日本木彫史

昭三十八年

森末 義 彰他

鳥丸家伝来本 方丈記 (卷子本)

昭三十八年

森 蘊

寢殿造系庭園の立地的考察

昭三十八年

森岡 健二

文章構成法―文章の診断と治療―

昭三十八年

芳賀 幸四郎

中世禅林の学問および文学に関する研究

昭三十八年

森岡 健二

文章構成法―文章の診断と治療―

昭三十八年

黒板博士記念会

古文化の保存と研究

昭三十八年

森岡 健二

文章構成法―文章の診断と治療―

昭三十八年

国文関係

女子学習院 編

女流著作解題

昭三十八年

高群 逸 枝

日本被服文化史

昭三十八年

津田 左右吉

日本上代史の研究

昭三十八年

守田 公 夫

現代栄養学

昭三十七年

名取 嬢之助

桂 女 資 料

昭三十八年

小出 真 次

被服構成学

昭三十八年

北海道庁

北海道の口碑伝説

昭三十八年

水梨 サワ子

被服美学

昭三十八年

五十嵐 力

軍記物語研究

昭三十八年

山崎 勝 弘

被服美学

昭三十八年

大和文華館

大和文華 創刊号〜四十巻まで

昭三十八年

二国 二 郎

デンボンハンドブック
American Society for
1961 Book of A. S. T. M. Standard
Testing and Materials. Tentatives Part 10.

昭三十八年

三谷 栄一

日本文学の民族学的研究

昭三十八年

三石 巖

生活科学序説

昭三十八年

西角井 正慶

神楽 研究

昭三十八年

梅沢 純 夫

抗菌性物質

昭三十八年

一学生

二十七名

計

三十六名

三 日程概要

昭和三十八年十月二十五日 出発

十一月十五日 帰校

○桑港に八日間滞在・桑港・ワッソソニル・サンノゼ・サンマテオ各仏教会にて法要並びに交歓演奏会を行う。

○桑港市長を訪ね大阪市長のメッセージを手交、又市内及び近郊の見学を行う。

○パークレー・オークランド・サフラメントに各一泊、法要並びに交歓演奏会を行う。

○パークレイ加州大学を訪ね交歓演奏を行う、又サフラメントにて加州知事を訪問、大阪府知事のメッセージを手交この三日間は日系人の各家庭に分宿。

○日系人経営の農場花園等をも見学した。

○フレスノに四日間滞在

ヨセミテ観光を終えてフレスノに到着。日系人の歓迎スケジュールはフルに組まれていた。法要、交歓演奏会、見学、等々。

KMJスタジオよりテレビ放送を行う。又中加YBA大会に参加交歓を行う。フレスノステートカレッジの招待で独乙ミュージンスタカレッジの演奏会を聴く。

ホテル二泊、各家庭分宿 二泊。

○ロスアンゼルスに三日間滞在

ロス別院、ガーデン、洗心、パサデナ、西別院で各法要を行う

ハリウッドスタジオ・マリナランド・ディズニールランド・ナッツベリファーム等見学 ホテル一泊、各家庭分宿二泊。

○ハワイ 七日間滞在

北米に於けるスケジュールはフルに生まれ一行は可なり疲れをみせていたがハワイ滞中で回復したようである。

別院に於ける法要はラジオに中継され、大きな反響を与えた。一日ヒロに飛びハワイ島火山公園の見学。ヒロ別院に於ける法要、交歓演奏会は印象にの

こるものであらう。

この旅行について北米及びハワイに於ける日系各新聞は毎日のように写真入りで紙面をうずめてくれた。又仏教団関係者、日系人の心よりの歓迎に感謝しつつ報告にかえる。

(仲 芳樹 記)

第二十五回相愛学園読書会

三月九日、午後二時より図書館にて開催。解説者田中重太郎、中野恵海両先生、出席者四十五名、荒井、二十二、田中、柿谷、中野、川喜多の諸先生。最初に次回の読書会について、出席者より希望をたずねた結果、テーマ「出家とその弟子」に決定され、八月三、四日一泊、昨年と同じ大津市石山「松葉家」に全員一致で決る。先ず田中先生が、本会のテーマ「泥にまみれて」の解説を、ユーモアに満ちた口調で話される。

この小説は結婚生活の幸福について、妻の愛情のあり方について作者の信ずるものを書いたものである。鶴岡知而夫妻の二十年の結婚生活の苦闘を経て来た体験を、今度娘の結婚生活の困難に対して教訓的に述べたと云う事を、御自分の体験談と共に話された。これに対して学生より活潑な意見が出され、最後に中野先生によつて、お互に信じ合い、信頼される事が一番大切であると総まとめされた。時既に午後五時。卒業生の前途を祝福し、第二十五回読書会を閉じる。

第二十六回相愛学園読書会

八月三、四日 一泊、大津市石山「松葉家」にて開催、解説者今小路覚瑞先生、テーマ倉田百三著「出家とその弟子」、出席者は、荒井、二十二、田中、中野、中西、河智、川喜多先生他に事務局員、図書館員を合せ卒業生も出席者の半数に達し、一年振りで先生方にお会い出来た喜びに胸をときめかせたり、又今春卒業し、新しい社会に門出し始めての職場の体験談等しながら、折悪しく降り続く夕立の空を眺める。夕方六時雷鳴をともなった夕立も私達の願いを聞入れたかのように通り過ぎ、涼風立つ瀬田川にて、昨年と同様、二十二先生の指導のも

とに歌会せを行う。翌朝、歌会の判定を行い入賞者に賞品等を渡す。その後出席者の自己紹介を行い、本会のテキストである「出家とその弟子」より、唯円と遊女「かえで」との恋を中心に語り合い。「出家とその弟子」の世界を貫く心は、生を愛するところ、恋を思うところ、死を恐るるところを抱き締めながら、而も人生の限りなき淋しさを感ずるものであると、それぞれの立場より意見を出し合う、又今小路先生より、一切のパンによせる夫婦の愛情について話される、正午過ぎ会散。

昭和三十八年度音楽学部卒業論文

大垣内みどり「初等課程における音楽教育への一考察」

— 明治・大正期の小学校音楽教育の推移 —

昭和三十八年度音楽学部卒業演奏

- 赤峰 立子 下総 皖一：山のあなた
Puccini : Tu che di gel sei cinta (Turandot)
- 石原 秀子 中田 喜直：木 兎
Brahms : Immer leiser wird mein Schlummern. op. 105, No. 2
- 上山 善子 箕作 秋吉：悲 歌
Puccini : Un bel di, vedremo (Madama Butterfly)
- 国子 万里 諸井 三郎：少 年
Puccini : Mi chiamano Mimi (La Bohème)
- 白井 弘子 中田 喜直：おととよ
Donandy : O bei nidi d'amore
- 鳥村 慧 小松 耕輔：砂丘の上
Beethoven : Arle der Marzelline (Fidelio)
- 竹本 淑美 山田 耕笹：病める薔薇
Puccini : Tu che di gel sei cinta (Turandot)
- 滝野 澄子 箕作 秋吉：悲 歌
Puccini : Un bel di, vedremo (Madama Butterfly)

- 友安 弘子 平井康三郎：平城山
Donizetti : Convien Partir! (La Figlia del Reggimento)
- 松木美奈子 平井康三郎：秘 唱
Verdi : Pace, pace, mio Dio! (La Forza del destino)
- 横川美智子 団 伊玖磨：藤の花
Respighi : Schiuma il tuo furore egnizza (Maria Egiziaca)
- 浅場 典子 Ibert : Histories
- 阿部 純子 Haydn : Arietta con Variazioni
- 伊藤 悦子 Hindemith : Sonate Nr. 2.
- 稲垣 文子 Liszt : St. Francois de Paule marchant smr les flots
- 今井美智子 Debussy : Toccata (Pour le Piano)
- 位田 佳乃 Brahms : Rhapsodie op. 79 Nr. 1
- 浦敷 弘子 Liszt : La leggerezza
- 北山 素子 Schubert : Sonater op. 78
- 佐久間昭子 Weber : Sonate op. 49
- 沢本 徳恵 Brahms : Ballade op. 10 Nr. 1 u. Nr. 4
- 滝川富紀子 Brahms : Sonate op. 5
- 田谷由紀子 Schumann : Abegg-Variationen op. 1
- 中川 光子 Schumann : Sonate op. 22
- 中村久美子 Liszt : Mephisto-Walzer
- 平岡 翠 Chopin : Fantasie op. 49
- 前川 浩子 Brahms : Rhapsodie op. 119 Nr. 4
- 門野 容子 Beethoven : Sonate op. 90
- 山泉 孝子 Chopin : Variations brillantes
- 山崎 泰子 Mendelssohn : Variations Sertenses
- 山田 純子 Faure : Barcarolle op.41
- 渡辺久仁子 Liszt : Un pospiro
- 長谷部稔子 Beethoven : 12 Variationen
- 吉永 清子 Brahms : Konzert für Violine D dur

昭和三十八年度音楽学部卒業演奏会

三九・三・一九 相愛講堂

- 一、国子 万里 Puccini : Mi chiamano Mimi (La Bohème)
 (ソプラノ) 諸井 三郎 : 少年 伴奏 坂本渥子 (本学教員)
- 二、山崎 泰子 Mendelssohn : Variations Sérieuses
 (ピアノ)
- 三、島村 慧 Beethoven : Arie der Marzelline (Fidelio)
 (メッツォソプラノ) 小松 耕輔 : 砂丘の上 伴奏 勝 紀代子 (研究生)
- 四、浦敷 弘子 Liszt : Etude de concerto No. 2, f moll
 (ピアノ) La Jegerenza
- 五、上山 善子 Puccini : Un bel di, vedremo (Madama Butterfly)
 (ソプラノ) 箕作 秋吉 : 悲 歌 伴奏 山東 越子 (在学生)
- 六、中村久美子 Liszt : Mephisto-Walzer 1.
 (ピアノ)
- 七、石原 秀子 Brahms : Immer leiser wird mein Schlummer
 (メッツォソプラノ) op. 105 Nr. 2
 中田 喜直 : 木 兎 伴奏 美馬千鶴子 (本学教員)
- 八、平岡 翠 Chopin : Fantasia op. 49
 (ピアノ)
- 九、滝野 澄子 Puccini : Un bel di, vedremo (Madama Butterfly)
 (ソプラノ) 箕作 秋吉 : 悲 歌 伴奏 山東 越子 (在学生)
- 一〇、吉永 清子 Brahms : Konzert für Violine D dur
 (ヴァイオリン) 伴奏 中村久美子
- 一一、横川美智子 Respighi : Schiuma il tuo furor eguizza
 (ソプラノ) (Maria Egiziacca)
 団 伊玖磨 : 藤の花 伴奏 中村久美子
- 一二、滝川富紀子 Brahms : Sonate op.5 f moll, Intermezzo ; Finale
 (ピアノ)